

特集

開かれたオフィス空間で活躍する企業



グローバルマーケティング・アソシエーション株式会社
代表取締役 栗野亮二氏



Reseapro Scientific Services(P)Ltd.
取締役副社長 タンマヤ・モハバトラ氏



公益財団法人 京都高度技術研究所 (ASTEM)
経営・新事業創出支援本部長 孝本浩基氏



株式会社 RIYONX
代表取締役 上田晋氏



公益財団法人 京都高度技術研究所 (ASTEM)
新事業創出支援部 山本明美氏



有限会社エイチアイトラベル
代表取締役 服部泰之氏



株式会社 カフィール
代表取締役社長 川上忠嗣氏



株式会社 カフィール
セールス・マーケティングマネージャー 青木勉氏



ACCO Semiconductor, Inc.
Senior Analog Engineer ベルトラン・ビジャー氏

開かれたオフィス空間で活躍する企業

働き方の多様化に伴い、従来のオフィスだけでなくさまざまな機能や形態を持つオフィスを活用する企業や個人が増えている。今回は、公益財団法人 京都高度技術研究所 (ASTEM) が運営する「STC³」のバーチャルオフィスと、京都リサーチパーク株式会社が運営する「ITEC」の企業にスポットをあてて紹介する。

STC³ バーチャルオフィス (ASTEM棟8F)

グローバル・マーケティング・アソシエーション株式会社

GMA



代表取締役 / 栗野亮二氏 (右)
レシプロ 取締役副社長 / タンマヤ・モハバトラ氏 (左)

インド企業と連携、最高品質のサービスを低価格で提供

海外向け日本製品のマーケティングを中心に、各種事業を展開するグローバル・マーケティング・アソシエーション。代表の栗野氏は同志社ビジネススクール在学時にインド人のタンマヤ氏と知り合い意気投合、一緒に事業を始めることとなった昨年10月にバーチャルオフィスの会員になった。

新事業は主に大学などの研究者の研究論文を海外ジャーナル (学術誌) に投稿する際のサポート業務。翻訳・校正等の実質業務は、世界に約500名の専門家ネットワークを持つレシプロ社が担う。ただ翻訳するだけではない質の高いサービスを手頃な価格で提供できるのが強みだ。

「KRP地区で開催されるセミナーやシンポジウムは、各分野の動向を知り、情報を得るのに非常に都合。またこの会員さんや地区に入居されている企業の方々は、お客さんとしてもビジネスパートナーとしても可能性がある。どんどん交流を深めていきたい」と栗野氏。実際にASTEMで紹介された企業と新たな取り引きが始まったそうで、さらなる活性化に寄せる期待は大きい。

当初、固定費の節約やスペースの活用度を優先してバーチャルオフィスの利用を決めたと言うが、今では最初はあまり重視していなかったKRP地区にあることの立地的メリットを享受している。

<http://www.manuscriptedit.jp/>



株式会社 RYONX

RYONX



代表取締役 / 上田晋氏

自信のスポーツシャツで、大手メーカーに勝負

社名の RYONX は「rise」「beyond」「x」という3つの言葉の組み合わせで、そこには「今までにない未知の世界に飛び込み、何かを成し遂げよう」との思いが込められていると言う。2005年設立。スポーツ用品・スポーツ衣料の開発、販売に取り組み、これまでに野球用手袋、リストバンド等を手掛けてきた。現在はスポーツ用シャツを開発中だ。

代表の上田氏は新開発のシャツについて「腰関節の構造的特徴を捉え、生地伸縮性を調節することで腰を安定させ、運動パフォーマンスを向上させるのが狙い」と話す。試行錯誤を繰り返しつつ研究開発に取り組んできた自信作。「大手メーカーとも十分勝負できる」と胸を張る。

これまでは西京区の自宅兼オフィスで仕事をしてきたが、製品化が現実的になってきたのを機に、バーチャルオフィスの会員に。「きちっとした会社をつくっていききたい。その第一歩としてこちらに入った。ASTEM、京都産業21、KRP (株) 等、いろいろな支援機関や企業が集積しているのが魅力」と上田氏。

時間とスペースが自由に使える点、ベンチャー企業にふさわしい建物外観なども気に入っていると言う。今は「スペース内をあちこち移動したり、セミナーの声や英語の会話が聞こえてきたり、意外と頭がリフレッシュできる環境」で、来年の春予定に迫った新製品の販売準備に追われている。

■ STC³バーチャルオフィスで活躍するその他の企業

約80の会員が利用中。その一部を紹介。

High Touch Kyoto

AXON Inbound Marketing Inc.
(ウェブサービス観光業)

旅先の友人になって
日本のファンを世界に広げよう!

「High Touch Kyoto」は、京都の文化に深く触れたいと考える外国人旅行者に対し積極的にサービスを提供している事業者を紹介するサイト。「おもてなしを感じる旅館や飲食店、文化講座等を通じて、一生心に残る体験をしていただきたい」と同社代表の小目谷篤謙氏は話す。サイトでは、旅館・飲食店の歴史や思いなどを丁寧に紹介している。事業者の登録は無料。

<http://www.hightouch-japan.com/>



NPO 法人
支援機器普及促進協会
(NPO 福祉の増進)



スマホ、タブレットやアプリ活用で高齢者や障害者の「出来る!!」を応援します。

障害者や高齢者・その家族の生活の支援をするために、スマートフォンやタブレット型情報端末、電子書籍等の活用を提案。使い



やすい機器やソフトの普及活動を行なっている。会員に対し、機器の体験貸出し・グループ学習会・PC設定訪問・支援ソフト作成を実施。また、全国の特別支援学級や療育施設・病院などで iPad 活用の研修会を行うなど、活動を広げている。



そのほか
入居企業
一覧はこちら

<http://www.stc3.net/company>

STC³バーチャルオフィスのココが魅力!!

STC³のバーチャルオフィスは、イニシャルコストをかけずに手軽にオフィス開設ができる、会員制のコミュニティスペース。起業家や産学・産産連携等による新規の事業展開を考える企業の方々に、スペースとビジネス環境を提供しています。明るく解放的で眺めのいい8Fフロアにある、落ち着いたスペースです。

※ STC³とは、Science, Technology & Culture Commercialization Community の略。

●好きな時間に好きなスペースを自由に利用
週7日・24時間、いつでも自由に利用でき、スペースも空いているところはどこでも自由に使えます。会議スペース、



商談スペースも予約制で利用自由。会員のマナーが非常に良く、共有スペースでありながら静かな環境でじっくり仕事に集中できます。

●月額10,000円で各種セミナーも無料受講

一般会員は月会費10,000円のみで、スペース利用に加えて事務局企画の各種セミナーが無料で受講できます。



また秘書代行や会計・法務サポートの割引利用、インキュベーション・マネージャーの有料指導など、ビジネス活動をサポートする魅力的な会員特典が多数用意されています。

短期集中型プランで起業を徹底サポート

(公財) 京都高度技術研究所 (ASTEM) 新事業創出支援部 / 山本明美氏

私どものいちばんの特徴は、セミナーがセットになっている点でしょうか。特にこれから起業する方には、短期間ここで集中的に勉強してもらおうプランがおすすめ。充実のバックアップ体制で、始動から立ち上げ後まで一貫してサポートできるのが強みです。

また、今年度から STC³の専用サイトを立ち上げました。現在は入居企業一覧ページの会員情報を確認・整理中です。事務局から皆さんの広報の一助となる情報を発信していきたい。ここから会員同士の会話が生まれれば嬉しいですね。



ITEC (KRP4号館3F)

株式会社 カフィール



代表取締役社長／川上忠嗣氏(左)
セールス・マーケティングマネージャー／青木勉氏(右)

光学プラスチックレンズ分野でさらなる飛躍をめざす

カフィールは光学プラスチックレンズに特化した製造メーカーで、2000年にそれまで取り組んできた一般成形からレンズ成形にシフトチェンジした。「コスト競争で十分な利益が得られなくなってきたのです。このままではいけないと思い、難易度は高いけれど付加価値も高いレンズ成形に思い切って切り替えました」。そう語るのは、社長の川上氏。

光学レンズ成形においては形状精度が非常に重要で、微細加工・微細形状・精密転写等の高度な技術が求められる。カフィールは持ち前の技術と24時間操業の製造体制で順調に業績を向上。規模拡大をめざす次のステップとして今年8月、ITECに京都オフィスを開設した。新規開拓の任を受け、ここを拠点に活動する青木氏は「京都駅か

ら近くて便利だし、受付の方も親切でとても居心地がいい。今は近畿・関西がベースですが、ゆくゆくはカフィールの名前が全国に広がるよう、ここから情報発信していきたいですね」と話す。

オフィス開設の場所に ITEC を選んだ理由の1つは、KRP 地区内1号館と9号館に取引先企業が入居していたため。また同社は経産省の各種事業認定を受けている関係から、経産省と関わりが深い京都高度技術研究所 (ASTEM) が立地することも大きかったと言う。「ここに入居することで入居者同士の連携が生まれ、ネットワークが広がるという意味でも魅力を感じました」と川上氏。

同社は現在、「光学を応用したナノメディカルチップの超精密射出成形加工の研究開発」のテーマで戦略的基盤技術高度化支援 (サポイン) 事業に採択され、医療機器の開発に取り組んでいる。「産学連携の事業で大学の先生たちと話しているとわくわくする。京都オフィスは規模拡大のためという面もあるが、量より質。それ以上に「よそではできない難しいことをやっている。カフィールなら何とかしてくれる」と思ってもらえるような実績をつくっていききたいですね。ITEC を足場に川上氏の夢は膨らむ。



ACCO Semiconductor, Inc.



Senior Analog Engineer / ベルトラン・ピジャー氏

先端の通信技術を支えるチップのデザインに取り組む

フランスにある半導体開発企業でマイクロチップのパターンデザイナーとして働いて

いたピジャー氏が日本に移住したのは3年前。日本人の妻との間に生まれた長男に日本の文化や教育を体験させたいと考えたのが、来日のきっかけだと言う。移住に際して日本でのワークスペースを探していたときに、最初に見つけたのがここ ITEC だ。「静かな場所で仕事をするのが好きだし、私の業務は大きなスペースを必要としないので、最適な環境。ただ、窓があればもっとよかったかな」とピジャー氏。

ACCO はカリフォルニアに拠点を置き、革新的な技術で進化を遂げてきた注目企業。エンジニアのひとりとして、携帯電話に内蔵されるチップの電磁波パターン等を考案するのがピジャー氏の主な仕事だが、オフィスでの業務は専らパソコンに向かった作業だ。

パソコンとインターネットがあれば家でもできる仕事だが、最初から自宅オフィスの選択肢はなかった。「やはり ON・OFF の切り替えはしっかりしたいので、自宅外のオフィスが必要ですね」。ピジャー氏の ON タイムは、開放的でありながら静かな作業環境をもたらす ITEC がサポートしている。

KOKORO (清雅)

TAVERN
KOKORO



WEB 部門責任者 / 牧浦高史氏

WEB 関連事業の専用オフィスとして ITEC を活用

4号館地下で無国籍料理店「TAVERN KOKORO」を運営する KOKORO では、WEB 部門のワークスペースとして3年前から ITEC を利用している。それまで主に自宅で仕事していた牧浦氏は「ここに入居してから打ち合わせで人に来てもらえるようになり、仕事にも集中できるようになった。おかげで取引先が急激に増えました」と話す。

また、扉のないオープンな雰囲気もお気に入りにポイントの1つだ。「入居者の方々に気軽に声かけられるし、交流もしやすい」と、特有の開放感に居心地のよさを感じている。

ITEC 入居企業

(株)アール・エム・アイ
リスクマネジメント、コンサルティング

(有)エイチアイトラベル
海外国内の旅行業務

FP.フォートレス
ファイナンシャルプランナー

とうようしゃ
桃天舎
書籍や雑誌の企画・編集・DTP 組版

(株)リードシステム
監視システム、制御系システムの開発

NPO法人コピーマート研究所
知的財産に関するコンサルティング

カジックス(株)
創業 ゲノム 関連の研究支援機器制作・受託開発

高砂電気工業(株)
流体制御機器等の設計・製造・販売

(有)清雅
飲食店舗(KOKORO)運営・
情報サービスコンサルティング

ITEC 概要

ITEC は、1994年に開設。現在はよくみられるタイプのオフィスだが当時は珍しい形態であった。卒業企業には、「まぐまぐ」や「はてな」などIT企業も目立つ。机一つのブースタイプから、ガラスの壁で仕切られた小オフィスタイプまでそろい、企業の状況に応じて使用できる。また、入り口には共用の受付があり、電話取り次ぎの代行等も行っている。

ITEC のココが魅力!!



エイチアイトラベル代表取締役 / 服部泰之氏

入居者同士の“長屋のおつきあい”から化学反応が起こることも…。10年間でいろいろな時代があったけれどマイナス要素は1つもないですね。

当社はKRP地区で開業して今年で丸10年になります。ブースからはじまりオフィススペースへ、ITECの中で3回引っ越しながら少しずつ拡張してきました。30代前半でお金も何もない状況での開業。手頃なブースが街の真ん中で借りられるのは画期的でしたね。

当時は年下の入居者も多く、長屋的な交流をしていました。そこから単体企業では出しにくいものが化学反応で生まれたり、直接ビジネスにつながらなくても人間形成の上で得るものが多く楽しかったですね。時代とともに定年前の早期退職で起業する方や営業

所的な利用も増えてきて、コミュニケーションの形も変わってきていますね。ITECのOBにはビルを建てた方、上場した方もいます。ITECを卒業して6号館や9号館へ移ることは1つのステータスアップと言えるでしょうね。KRP入居については、

まず地区の中心でもある4号館のITECから始めるのが理想かな…。ここでKRPのことを理解してから別の棟に移るのがいいかなと、個人的には思います。



今年度から受付業務を受託していますが、歴代受付の方々は個性的で影響力もありましたので、今後はうちのカラーも取り入れて楽しいオフィス環境が作れたらと考えています。10年を振り返るといろいろな時代がありましたが、それはまた繰り返しだと思います。私自身ここにおいてマイナス要素は1つもなく、いいことばかりの10年でした。

TAVERN KOKORO / コミュニケーションが生まれる店



4号館地下の「TAVERN KOKORO」。KRP 地区内で気軽に立ち寄れる場として親しまれている。KOKORO では、交流会やライブイベントなども開催しており、KRP 地区内の入居者同士が出会い、新たな交流が生まれている。

KRP地区には起業家やベンチャーの支援に最適なスペース・魅力的なソフトが揃っています。

公益財団法人 京都高度技術研究所 (ASTEM)
経営・新事業創出支援本部長 / 孝本浩基氏



起業の準備段階から、経営支援までサポート

我々京都高度技術研究所(ASTEM)は、ベンチャーから中小企業まで、企業の課題や状況に応じて総合的に支援ができる体制を整えています。ASTEM 棟 8 階の STC³パーチャルオフィスは、主にインキュベーションオフィスに入る前の段階の、これから起業しようとする方を対象にした施設として誕生しました。ここではさらにセミナーやインキュベーションマネージャーのサポートによるしっかりとした支援を行っており、起業を目指す方々のユニークな事業や社会的意義のある事業を形にするお手伝いをしています。また産学公連携に実績のある ASTEM が運営していますので、国



や大学と繋いだり産産連携のような企業を紹介することも可能です。

起業後、経営基盤ができた次は個別のブースが必要だろうということで、ASTEM 棟 7 階には KRP (株) が「VIO (ベンチャー・インキュベーション・オフィス)」を設けています。7 階・8 階の機能的な連携を強化するため、「イノベーション・ジャングルプロジェクト」を立ち上げ、イベントの共催などから少しずつ取り組みを進めています。

起業とシェアオフィス

東日本大震災を境に、「自分の求めていること」を探してさまざまなコミュニティに関わる方が増えています。そういった方が答えにたどり着き、社会問題の解決に自分の能力を役立てよう

と起業を目指すケースも少なくありません。また、シニアベンチャーの方も増えています。そうした起業家の方々にとって、イニシャルコストをかけずにオフィスを開設できる STC³や ITEC のようなオフィスの形態は、一つの選択肢として浸透しつつあります。KRP 地区には、企業の支援機関が集まっているので起業を考えている方には単に経費の面だけでなく支援の面からも最適の場所です。

KRP地区、京都の産業活性化につなげたい

京都は、人に会おうと思ったらすぐに会えるコンパクトさと、たとえば、京都大学等の大学の研究成果を産業につなげるといった知的刺激もある場所です。そのような地の利も活かして起業を目指す方をサポートし、やがて STC³から飛び出し活躍していただくことで、KRP 地区の活性化、京都の活性化につながればと思っています。



イノベーションジャングル PJ



ASTEMとKRP(株)とが長年にわたり構築してきた事業支援の仕組みやネットワークを相互に活用することにより、より一層、京都地域における新産業やベンチャー企業の創出及び活性化を図ることを目的に立ち上げたプロジェクト。2013年は、「マザーズ上場セミナー」や「海外外」、 「シリコンバレー 流マーケティングセミナー」などを開催した。



京都市産業技術研究所デザインチーム「現代茶湯アワード式〇壺参」グランプリを受賞

京都市産業技術研究所(KRP西地区)の研究者・竹浪祐介氏が「現代茶湯アワード式〇壺参(主催:一品更屋)」にて、グランプリおよびオルタナティブ部門・金賞を受賞した。この公募展は現代における茶道具の意味を考え、可能性を広げる目的で開催されているもので、

竹浪氏は3Dプリンターを用いて立体造形した樹脂容器に漆を塗り込み仕上げた茶器「ALT棗(オルタナツメ)」を出品。3Dプリンターという世界的に注目を集める技術と伝統の融合、その意外性、可能性が高く評価され、栄えある受賞となった。



3Dプリンターの活用で、ものづくりの可能性を広げる



京都市産業技術研究所 デザインチーム 竹浪祐介氏

私が所属するデザインチームでは、先端技術と伝統技術を融合させた新しい商品開発なども手掛けています。今回は、我々の技術を広く知っていただくためにコンテストに応募し、グラ

ンプリをいただくことができました。

当研究所が保有する3Dプリンター(ラビッドプロトタイプ造形装置)は、熱溶解積層方式の装置です。これは3D-CADで設計した3次元形状データを基に、熱で溶かしたポリカーボネートを細い糸状に射出して立体を造形するもので、0.17mmにスライスした断面を積み重ねていくイメージです。

この方式は断面に段差ができてしまうのですが、この特徴を逆に利用することで今までの方法では作れないデザインが実現できるのではと考えました。作り方の特徴をそのままデザインに活かしたというわけです。

デザインは、不便を便利にするだけでなく、新たな価値を生み出すこともできる。それは素材と技法の組み合わせの面白さだったりしますし、今までにはないもの、真似のできないものができるればいいですね。

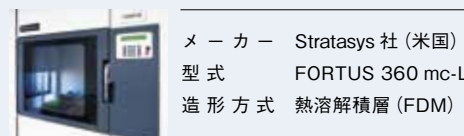
当研究所では話題の3Dプリンターをもっと身近に感じていただき、どんどん活用していただきたいと考えています。製造業の方の試作から、伝統産業に携わる方まで、小さな部品1個からの試作にも対応いたします。京都市のものづくりを支援する公共施設として広く門戸を開いておりますので、どうぞお気軽にご利用ください。

京都市産業技術研究所 3Dプリンター利用の流れ

3D-CADのデータをご用意ください。手描きスケッチや2次元製図などの3D-CAD化のご相談にも対応いたします。

お見積もり・納期のご回答

造形作業



メーカー Stratasy社(米国)
型式 FORTUS 360 mc-L
造形方式 熱溶解積層(FDM)

京都市産業技術研究所 TEL:(075)326-6100(代表)

KRP地区内で3Dプリンターを活用する機関・団体 企業の研究開発支援や産学公連携活動に3Dプリンタを活用!

京都府中小企業技術センター (KRP 東地区)

平成9年より粉末焼結(ナイロン)方式の3Dプリンターを保有し、中小企業の試作・開発等の支援を実施している。
※平成25年11月現在、機材入れ替えのため利用停止中。平成26年3月頃より利用再開予定。

基盤技術課 TEL:(075)315-8633

京都大学デザインイノベーション拠点 (KRP 9号館)

メーカー Roland
型式 MODELA MDX-40A
造形方式 樹脂切削型 (3Dプロッタ)

※京都大学デザインスクール関係者専用のため一般利用は不可

デジタル×ものづくりをもっと知りたい方へ KRP(株)産学公連携部主催

Digi x Fab workshop 開催!

製造技術とICTの両方向の視点から、デジタルファブリケーションの外観、展望、課題などについて情報共有・交換をする試行的な取り組み(全3回)を開催! 次回は12月13日予定。
<http://www.krp.co.jp/sangaku/event/>



京都大学サマーデザインスクール2013

●日程：2013年9月25日(水)～27日(金)
 ●場所：メイン会場/アトリウム KISTIC2階イノベーションルームA、B ミニ講義/KRP1号館2階 サイエンスセンタークラブ KRP1号館4階 B会議室
 発表会/KRP1号館4階 サイエンスホール KRP1号館4階 AV会議室
 ●主催：京都大学デザイン学大学院連携プログラム、京都大学大学院情報学研究所、京都大学経営管理大学院
 ●共催：京都市立芸術大学美術学部・美術研究科、京都工芸繊維大学工学部科学研究所、京都大学大学院工学研究科、京都大学大学院教育学研究科、
 京都大学学術情報メディアセンター

今年で3回目を数える「京都大学サマーデザインスクール」 社会の実問題を「デザイン」で解決する道を探る3日間が終了

京大サマーデザインスクールで取り上げる「デザイン」はプロダクトやグラフィックばかりでなく、社会のシステムやアーキテクチャまで含めたもの。そうした広義の意味での「デザイン」によって社会の実問題を解決することを目指し、3日間のテーマワークに取り組むイベントだ。今年の設置テーマは昨年より大幅に増え25テーマ。「社会の分散協調システム」や「2050年の京都についての考察」など社会的意義の深いものや、「子どもの視点で見た世界」や「開かれたイノベーションの可能性」など製品・空間にとらわれないモノやコトのデザインといった、幅広いテーマが設けられた。テーマの一つ「次世代の働き方と働く場をデザインする」では、「働く場」の一例として、KRP8号館の(株)イー・エージェンシーのオフィスを訪問。事業内容と空間構成の関係等について、実際に働く側の説明を受けた。

期間中、京都大学や京都市立芸術大学教授などによるミニ講義も開かれ、アイデアや発見のためのヒントが提示された。最終日の発表会は2会場に分かれ各チームのプレゼンが行われた。会場2では、京都大学の門内輝行教授が、「異なる領域の参加者が集まることで、非常に短期間で深い議論ができることを感じられたのでは」と講評を述べた。その後、参加者自身による投票が行われ、それぞれの優秀賞が表彰された。

学生を中心に社会人を含む受講者110名、ワークを主導する実施者96名、見学53名の合計259名が参加。このうち約3分の1は京都大学以外からの参加となり、学内だけにとどまらない広がりを見せた。過去最大規模での開催となり、本年4月に「京都大学デザイン学大学院連携プログラム」が開始されてから初めてのサマーデザインスクールとして大変充実した3日間となった。



京都大学サマーデザインスクール 2013 会場にて



フィールドワーク オフィス見学会

第二回 産学デザインシンポジウム

日時：2013年9月26日(木) 13:00～18:00(交流会18:20～)
 会場：シンポジウム/KRP1号館4階 サイエンスホール
 交流会/KRP1号館2階 サイエンスセンタークラブ

MIT Media Laboratoryの元所長、Walter Bender氏の招待講演を皮切りに、京都大学、企業双方から産学連携に関する活動報告や事例報告が行われ、最後にデザインイノベーションコンソーシアムの設立についての報告があった。また、参加者を対象に同時開催中のサマーデザインスクール見学ツアーも行われ、学生らが課題に真剣に取り組む様子を見学した。



専門家との直接意見交換シンポジウム in KRP PartVI 再生医療を「治療」と「研究(細胞、創薬)」に分けて考える

—— 細胞とモノづくり技術との融合 ——

●日時：2013年9月18日(水)9:20～18:00(交流会18:20～) ●場所：シンポジウム/KRP1号館4F サイエンスホール 交流会/KRP1号館東隣 アトリウム
 ●主催：京都リサーチパーク(株) ●後援：近畿経済産業局、(独)科学技術振興機構、京都府、京都市、京都商工会議所、(社)京都工業会、京都産学公連携機構

本年7月に世界初となるiPS細胞を使った臨床研究が日本で正式に承認されるなど、次世代医療として大きな期待を集める再生医療。その早期実用化には生物医学的な「研究」が必要であり、それら「研究」を支えるべき周辺分野の技術開発が不可欠だ。

KRP(株)が、再生医療の早期実用化を目指して、モノづくりの視点から進める『再生医療サポートプラットフォーム』では、今年もシンポジウムを開催。今回は、再生医療を「治療」とそれを支える「研究」に大別したテーマ構成で開催。京都大学再生医科学研究所の田畑泰彦教授のオーバービューに引き続き、臨床現場、研究現場、製品開発現場の各分野

から講演が行われた。

午後の部は、臨床分野から(独)理化学研究所の高橋政代氏を招き、材料分野の田畑教授と「iPS細胞と網膜細胞移植」をテーマにした対談でスタート。高橋氏が取り組む、世界初のiPS細胞臨床応用による「加齢黄斑変性」の治療を中心に、iPS細胞を使った再生医療の実現化に関する問題や戦略などが議論された。また、国の産業政策現場も加えた各分野の専門家が一堂に会したパネルディスカッションは、参加者も巻き込んで白熱。さまざまな視点から再生医療の実用化における「モノづくり技術」の役割や重要性について考える、有益な一日となった。



KRP成長企業支援部 イベントレポート

9/18 町家でお酒を楽しもう! No.16
 KRP町家スタジオで「紀州のお酒を楽しむ」



楽しみながら日本酒の知識を深め、味わう会を開催。16回目のテーマは「久々のご当地シリーズ」となる、「紀州のお酒」。利き酒師片桐新之介氏によるお酒の解説からスタート。和歌山の平和酒造から山本専務を招き、日本酒にける熱い思いを語っていただいた。今回、初参加の方が4割。リピーターの方と新しい方とお酒の楽しみを通じた交流が生まれていた。

10/2・3 イノベーションマッチング「電子部品メーカーとのマッチング」技術ニーズ説明会



地域の中小企業支援機関や金融機関を対象に、村田製作所の技術ニーズ説明会が開催された。村田製作所の技術・事業開発本部の牛尾隆一氏による会社紹介のあと、広瀬圭一氏から20の技術ニーズについて説明が行われた。地域企業とのマッチングをはかる担当者を中心に、2日間でのべ65人が参加した。

9/27 第35回 宇治ベンチャー企業育成工場セミナー
 『自社の強みが「伝わる」ために』



日本唯一のプレゼンテーション専門コンサルティング企業の代表、新名史典氏を講師に招き、宇治市産業振興センターにて無料セミナーを開催。オリンピック東京招致プレゼンの成功事例などを交え、企業や製品の良さを正しく認識し、正しく伝えるための講演を行った。

詳しい内容はWEBでチェック!



●KRP成長企業支援部ブログ
<http://www.krp.co.jp/sks/vio/newsblog>
 ●町家日記
<http://www.krp.co.jp/machiya/blog/>



ニイガタ株式会社 (4号館5階)

④ 代表取締役 社長 渡辺 学氏
山形県生まれ横浜育ち。東海大学卒業後さまざまな仕事を経験し、ニイガタ(株)の前身である(有)新潟彫刻入社。座右の銘は「笑門来福」。

⑤ 関西営業所 所長 山本浩司氏(4号館5F)
京都市出身。三重大学大学院卒業(生物資源学専攻)。大阪の理化学商社で 7年間、開発職。学生時代と横浜本社在籍期間を除いて京都住まい。

技術に導かれて研究・開発支援業へ(渡辺)

樹脂を削っているいろいろな形を作る樹脂加工。なかでも透明樹脂をさらに磨きあげて完全に透明に仕上げるのが我が社の得意技術、いわば武器です。この技術が、現在の業態へと展開するきっかけとなった出会いをもたらしました。慶応大学の先生からの「中が見える実験装置を作ってほしい」という依頼。研究者には設計や加工技術について詳しくない方が多く、そこに我々の技術と知識が入り込む余地があったんですね。こんなコトをしたい、こんなモノを作りたいという「想い」を聞いて、カタチにする。もともとの樹脂加工業から加工技術を生かした開発支援業へと発展させ、今、大学研究室や企業の研究所でニーズを拾って提案し、カタチに仕上げ納品しています。

会って、話して、研究者の想いをカタチに(山本)

横浜に本社を置くニイガタ(株)にとって初の営業所となる関西営業所は、9月1日に正式オープンしたばかり。営業所長である私も、実は今年1月に入社したばかりなんです(笑)。それまで大阪の理化学商社で7年間、開発の仕事に当たっていましたから営業職というのも初めて。そんな私に転職を決意させたのは、個別に対応することで一人の先生、研究者の想いをカタチにするという当社の考え。そこには新しいモノを作る余地がいくらでもある、面白そうなフィールドだという、開発に従事する者としての「勘」が働いたのかもしれない。



日々、京都市内を自転車で回っています。仕事であくせくしながらも心に余裕を持てるこのスピード感は、京都の土地柄ですね。また京都駅から1駅というKRPの立地は大阪や兵庫、滋賀に行くのにも便利で非常に満足しています。ニイガタ(株)の名前は、関西ではまだほとんど知られていません。まずは名前を浸透させ、分野を問わない研究者

から、困ったときには山本に電話してみようと思ってもらえる存在を目指したいです。

研究・開発に不可欠の存在を目指して(渡辺)

私たちに独自の加工技術がありますが、これ以上深掘りするつもりはありません。それよりも、京都に多くある優れた技術をもつ企業とつながりながら、さまざまな技術をツールとして横断的に使って研究者がやりたいことを実現させたい。そのためのインターフェースとしての存在を関西営業所には求めています。当社の夢は、研究・開発にとって「なくてはならない



存在」になること。横浜と京都を東西の拠点として、今後10年で全国展開できる形にしたいと考えています。そのために重要なのは、10年以内に何人の後継者を育てられるか。そのうちの一人は山本と、もう決まっていますけど(笑)。

PickUp!

■ 水中7軸稼働実験装置

動いている患部を自動追従させ、超音波をピンポイント照射することにより癌組織や結石破壊を皮膚の切開することなく行う開発研究の為の実験装置



4号館ITEC



株式会社カフィール

・射出成形、光学プラスチックレンズ、超精密機構部品
・それに伴う光学設計及び金型製作



株式会社カフィール
川上忠嗣 代表取締役
●TEL/075-874-2942
●FAX/075-874-2943
●MAIL/info@kafeal.com
http://www.kafeal.com/

4号館5階



ニイガタ株式会社 関西営業所

透明樹脂の切削・研磨を行い光学レンズの試作、各種可視化部品・装置の製造。大学や企業の研究開発のための一品物実験器具装置の設計、製造。また、得られたニーズからの汎用理化学機器の開発・製造。

ニイガタ株式会社 関西営業所
山本浩司 関西営業所 所長
●TEL/075-963-5586
●FAX/075-963-5101
●MAIL/yamamoto@ni-gata.co.jp
http://www.ni-gata.co.jp/

KRP町家スタジオ



each

広告・販促物制作、CI・VI制作、イラストレーション制作



each
金藤佳代子
河村真由美
http://eachdesign.com

KRP町家スタジオ



モコデザイン moco*design

デザイン・イラスト制作から、パッケージ・リーフレット・冊子などの紙媒体、商品企画やビジュアル制作、WEBまで幅広い分野でお手伝いさせていただきます。



moco*design (モコデザイン)
船本あやこ
●TEL/070-5267-1296
●MAIL/moco@moco-design.jp

未来のKRPeople! 光徳小学校3年生 社会学習「地域のことを知る」でKRP地区を見学

京都市立光徳小学校の小学生48人が、「総合的な学習の時間」の一環でKRP地区を訪れた。学習のテーマは「地域で働く人、地域にある会社や店」。KRP地区の東管理センターや平安展示室、京都市産業技術研究所を見学。熱心にメモを取りながら説明を聞く姿が見られた。



京都の四季と食文化に親しもう 「京の食文化ミュージアム・あじわい館」

京野菜や京の食文化の普及を目的として、2013年4月にオープンした「京の食文化ミュージアム・あじわい館」。京都市中央卸売市場や京料理の歴史を学べる展示スペースに加え、実際に料理を作ってあじわえる調理室を備えている。調理室では、京料理の解説講座や料理教室が毎月約10講座開催されている。京都の

有名料理店のシェフを講師に迎えるなど、プロの味を直接知ることができるとあって盛況だ。また、歴史ある中央卸売市場へ親しんでもらうため市民感謝デーに、プロと買い物を楽しむ講演会も行っている。食欲の秋、「みる、つくる、あじわう」体験で京の食文化に対する知識を深めてみては。(入館無料)



京都市下京区中堂寺南町130番地 京都青果センター3階 / TEL: (075) 321-8680 / FAX: (075) 321-8690
E-MAIL: info@kyo-ajiwai.com / URL: http://www.kyo-ajiwai.com/

KRP地区全体防災(地震)訓練を実施!



9月25日、KRP地区全体では2回目となる地震防災訓練を実施しました。KRP地区内の28事業所約450人の方々にご参加・ご協力いただき無事に終了しました。当日は消火器訓練やAEDの講習、下京消防署の協力で地震車による地震体験訓練等を行いました。これからもKRP地区の安全安心のため取り組んで参ります。

10月18日 賑わいジャズナイト 開催しました

KRP賑わい村で、「賑わいジャズナイト」を開催しました。日笠智之トリオが奏でる音色が、秋の夜空を彩りました。KRP賑わい村では、11月からも引き続きランチタイムを楽しむキッチンカーが集まります。(次回の「賑わいナイト」は、11月8日(金)予定)



▲日笠智之トリオ

KRPイノベーションクラブ 12月の開講予定

KRP地区で開催するセミナーです。1回からのお申し込みも可能!

- 12月11日(水)** ●「損失」の感度をあげるコツ
～課題と責任の「見える」化から～
●イノベーションを考えるワールドカフェ
- 12月18日(水)** ●【MOVIE】コンプライアンス制度構築の基本

申込み・問合せはコチラ

3,000円～6,000円
(税別)

京都リサーチパーク(株)営業企画室
075-315-8342 / tabaneru@krp.co.jp
http://www.krp.co.jp/tabaneru/seminar.php

テクノロジー&ビジネスプランコンテスト in KYOTO 2013 ファイナルイベント開催!

日時: 2013年12月2日(月) 13:00開始(予定)

プログラム

- ・ファイナリストのプレゼンテーション
- ・講演(スピーカー調整中)
- ・結果発表
- ・表彰式

場所: KRP東地区1号館4階 サイエンスホール
お申込み: 事務局(合同会社SARR)のHPより
http://www.sarr-llc.com/BPC/



編集後記 現在、弊社の事務所はASTEM棟の4階にあり、同じビルの8階に、特集でご紹介した「バーチャルオフィス」の皆さまがいらっしゃいます。同じビルにいながら、なかなかお話をすることがなかったのですが、きっと面白い企業がたくさんあるだろうと気になっていました。今回、特集ができてとてもうれしく思います。バーチャルオフィスを含め、ASTEM棟にはまだまだたくさんの企業がいらっしゃいます。KRP地区の魅力を発信するKRP-PRESSとして、またご紹介していきたいと思ひます。

配送・停止・変更のご希望は、右記内容を明記の上
krppress@krp.co.jpへ

| | |
|----|--|
| 配送 | ① 〒、住所 ② 団体名 ③ 部署名 ④ お名前 ⑤ TEL/FAX ⑥ メールアドレス ⑦ 「配送希望」 ※定期配送も可能です |
| 停止 | ⑧ ご登録No.(封筒宛名ラベル右下) ⑨ 「配送停止希望」 |
| 変更 | ①～⑥のうち変更箇所と⑧のご登録No. |